

だい しょう だい き しょうがいしゃ
第3章 第4期障害者プランの
きほんもくひょう とりくみ ほうこうせい
基本目標と取組の方向性

せいかつ ばめん あんぜん あんしん
生活の場面2 安全・安心

2-1 健康・医療

(1) 障害者の健康づくりの推進

運動・歯や口、食生活などの分野で、障害者団体とも協力して、その人にとって取り組みやすい健康づくりを進めます。

また、障害のある人にとって必要な体力づくりなどが地域でできるよう、人材育成を含む環境整備を進めます。

2-1 健康・医療

主な取組

● 障害者へのスポーツを通じた健康・体力作り
支援

障害のある人が身近なところで体力づくりや余暇
活動をできるよう、人材育成や環境整備を進めます。

2-1 健康・医療

(2) 医療環境の充実

難病患者や医療的ケア児・者などへの支援や、医療機関・医療従事者に対する障害特性への理解を深める研修などを
通じて、障害のある人が医療を受けやすくします。

また、精神科救急医療は、週末・祝日・夜間などに
受け入れられる病床を確保し、体制の充実に努めます。

2-1 けんこう いりょう 健康・医療

おも とりくみ 主な取組

● いりょう き かんれんけい じぎょう 医療機関連携事業

み じか ち いき しょうがい くわ いりょう き かん ふ
身近な地域に、障害に詳しい医療機関を増やします。

● し か ほ けん いりょう すい しん じぎょう 歯科保健医療推進事業

しょうがい ひと たい し か ちりょう かく ほ はか
障害のある人に対する歯科治療の確保を図ります。

2-2 防災・減災

障害のある人や支援者などに、防災について詳しく
伝えたり、防災訓練などの機会を通じて、障害のある人の
困りごとや必要な支援を地域の方に理解してもらったり
するなど、自助・共助の取組を支え、震災・風水害など
様々な災害に対応できるように、検討を進めます。

2-2 防災・減災

つづ
(続き)

また、災害だけでなく、感染症などが大流行したときでも必要な障害福祉のサービスを提供することができるよう、事業所には、日頃から必要な準備を整えてもらい、流行したときには必要な支援を受けられるよう、検討と準備を進めます。

2-2 防災・減災

主な取組

- 障害者・支援者による災害時等の障害理解促進

地域防災拠点の訓練などで障害理解を広めます。

- 災害時における自助力向上に向けたツールの作成及び普及啓発

風水害に備えるツールを作り、広めます。